

<全体分析>

試験時間 90 分

解答形式

記述式・論述式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

昨年度に比べ、論述式設問の総字数(880字)がやや増加した (昨年度総計 840 字)。

制限字数 400 字以内という分量のある論述が出題された。

論述問題が複数出題されるので、時間内に仕上げるのに苦労するだろう。

出題の特徴や昨年との変更点

大問は 4 問構成で、ほぼ時代別での出題だが、第 2 問(中世)は江戸時代までを扱っている。

記述式設問 27 問。論述式設問 7 問。

論述式設問の字数は、30 字以内から 400 字以内までで、総字数は 880 字となり、昨年と比べて増加した。

例年多くの大問で出題されている、史料の読み取り論述問題は、第 2 問～第 4 問で出題された。

新課程を踏まえた出題

第 4 問で、歴史総合を意識した設問があった。

その他トピックス

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
[1]	記述・論述 (25 点)	原始・古代の信仰	問 8 は、庸が中央に納められる税目であり、雑徭が地方での労役であるという点を的確に指摘しよう。	標準
[2]	記述・論述 (25 点)	日中間の僧侶の往来	問 3 は、史料と図版をもとにした 400 字論述。下線部の趣旨に沿って、資料の意図を分析し、必要な情報を取捨選択するのはとても難しかったであろう。	やや難
[3]	記述・論述 (25 点)	元禄文化と隆盛する出版業	問 5 は、活版印刷ではなく木版印刷が隆盛した理由を史料と図版から推測するのは難しかったであろう。	標準
[4]	記述・論述 (25 点)	A. 金子堅太郎の人物史 B. 警察予備隊の創設	問 1 ウは、歴史総合を意識した設問。問 5 は、資料の時期が示されていないが、警察予備隊の設置に関するものであることに気づきたい。	標準

※難易度は 5 段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

記述式設問については、教科書レベルの日本史用語を正確に理解するとともに、正しい漢字表記ができるように常日頃から学習しておく必要がある。史料問題が出題されるので、少なくとも教科書掲載の頻出史料については読んで理解しておきたい。論述問題が 7 題出題され、総字数は 880 字となっている。時間内に答案を作成するためには、日頃から論述対策にきちんと取り組んでおかなければならない。